

# 「竜宮小僧」能を初創作

## 静岡文化芸大 10月に披露

静岡文化芸術大は、学生が企画・運営する秋恒例の能公演で、今回初めて、同大で創作した能を披露する。能は、浜松市北区引佐町の久留女木の棚田に伝わる「竜宮小僧」を基にした。公演は十月十日、同大講堂で。

竜宮小僧は言い伝えによると、利他の精神で人知れず村の農家を助け、死後に

は棚田の水源となり村を潤した。NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」に登場し、全国的にも知られるようになった。

新作能では、棚田にまつわる夢を見た僧侶が地元住民に話を聞いて墓参りをしたところ、幽霊として竜宮小僧が現れ、伝説が語られる。芸術文化学科の教授が、能の典型的な型の一つ



新作能「竜宮小僧」のプロジェクトチーム代表の鍵水美緒さん(左)と、主演の井上真珠乃さん(右)＝浜松市役所で

「夢幻能」に沿って構成し、台本を手掛けた。

大学では、伝説を紙芝居で子どもたちに読み聞かせる活動などがあり縁の深い物語だったため、新作能の企画が決まった。二十二日に市役所であった会見で、学生有志でつくる運営チームの代表・鍵水美緒さん(20)＝二年＝は「伝説のある地域の大学だからこそできた能」と話した。

主演の竜宮小僧役は、小学五年の井上真珠乃さん(10)＝名古屋市緑区＝が演じる。父は能楽師の松次郎さんで、毎年公演をサポートしてきた。初めての主演に真珠乃さんは「大きな声と動作でちゃんとやりた」と話した。

公演に先立ち、十月九日には能講座もある。通し券のみで、一般三千元、同大学生と高校生以下は無料。購入はアクトシティチケットセンターなど。(大城愛)

の金の茶っを灣五り出